

# 定例記者会見資料



○日 時	平成30年5月14日(月) 15時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	清原正義 理事長・学長
○会見項目	<p><b>【3キャンパス共通】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成蹊大学との連携協定の締結について……………〔資料1〕</li> <li>・平成29年度卒業生の就職状況及び平成30年度入学者の選抜状況について……………〔資料2〕</li> </ul>
○資料提供項目	<p><b>【3キャンパス共通】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度海外実践活動支援制度(GLOBAL DREAM HUNT)について……………〔資料3〕</li> <li>・平成29年度国際交流報告書の発行について……………〔資料4〕</li> </ul> <p><b>【浜田キャンパス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度 NEAR センター市民研究員第1回全体会の開催について……………〔資料5〕</li> <li>・島根県立大学総合政策学会特別講演会の開催について……………〔資料6〕</li> </ul> <p><b>【出雲キャンパス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護栄養学部開設記念行事開催について……………〔資料7〕</li> <li>・平成30年度認定看護師教育課程入学式の実施について……………〔資料8〕</li> </ul>
○行事予定	<p><b>【出雲キャンパス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生と副学長とのランチミーティング実施について……………4月25日(水)～7月2日(月) ※週1～2回実施 @学生食堂エール</li> </ul>

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。  
 なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 企画調整室 TEL 0855-24-2201  
 出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200  
 松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

島根県立大学  
 マスコット  
 キャラクター  
 オロリン



※次回の定例記者会見は 平成30年6月14日(木) 13:30 から開催予定です。

平成30年5月14日  
 島根県立大学  
 担当者：福間  
 電話：0852-24-2201

## 成蹊大学との連携に関する協定書の締結について

### 1. 目的

本学と成蹊大学は幅広い分野での人的交流を進め、その成果を人材育成や地域貢献に積極的に活用することを目的とする包括的な連携協定を結ぶこととなりました。この度、下記のとおり協定書の調印式を開催しますのでご案内します。

今後、具体的な連携プログラムを作成し、両校の学生が合同ゼミや課外活動などを通して交流を深め、それぞれの視点から地域を見つめ、考える契機になることを期待しています。

### 2. 経緯

- 本学の宇野重昭初代学長は長年にわたり成蹊大学で教鞭を執り、平成10年まで同校の学長を務められた。
- 総合政策学部には成蹊大学（大学院）出身の教員が複数名おり、教員間で学術交流が行われている。
- 昨年末に今後の交流を一層発展させる包括的な連携協定の提案があり、協議を行ってきた。

### 3. 連携事項

- ・学生、大学院生の教育、研究に関すること
- ・教職員の相互交流に関すること
- ・地域貢献および産学連携、国際交流に関すること

### 4. 協定書（案）

[裏面のとおり]

### 5. 調印式の概要

- 日時：平成30年6月1日（金）15時30分～
- 会場：浜田キャンパス本部棟2F 特別応接室
- 次第：
  - ・協定趣旨説明
  - ・両校学長による調印
  - ・記者会見

#### 【参考】成蹊大学概要

明治45年（1912年）・・・前身の成蹊実務学校創設

4学部10学科 学生数7,494名 教員数687名（うち非常勤437名）

- 法学部（法学科、政治学科）

学生数1,870名、教員39名

- 経済学部（経済経営学科）

学生数2,040名、教員49名

- 文学部（英米文学科、日本文学科、国際文化学科、現代社会学科）

学生数1,895名、46名

- 理工学部（物質生命理工学科、情報科学科、システムデザイン学科）

学生数1,689名、教員84名

## 島根県立大学・島根県立大学短期大学部と 成蹊大学との連携に関する協定書（案）

島根県立大学・島根県立大学短期大学部（以下「甲」という。）と成蹊大学（以下「乙」という。）は、両大学の一層の発展と地域の活性化に重要な役割を果たすため、次のとおり協定を締結する。

（目的）

**第1条** 本協定は、甲及び乙が包括的な連携のもと、相互の大学の更なる発展を目指し、教育、研究、地域貢献、産学連携及び国際交流等の分野で広く協力し、地域の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。

（連携及び協力内容）

**第2条** 甲及び乙は、次に掲げる分野について連携及び協力するものとする。

- （1）学生及び大学院に関する教育、研究に関する事項
- （2）教員の相互交流、共同研究に関する事項
- （3）職員の相互交流に関する事項
- （4）地域貢献及び産学連携、国際交流に関する事項
- （5）前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な分野に関する事項

（有効期間）

**第3条** 本協定の有効期間は、協定締結の日から1年間とする。ただし、有効期間満了の2か月前までに、甲及び乙のいずれからも改廃の申入れがないときは、更に1年間更新されることとし、その後も同様とする。

（個別協定）

**第4条** 本協定書の定める事項の実施にあたり、個別協定の必要があるものについては、別途協議のうえ定めるものとする。

（その他）

**第5条** 本協定に定めのない事項又は本協定の運用に関し疑義が生じた場合は、甲乙協議の上決定するものとする。

本協定締結の証として、本協定書を2通作成し、甲乙それぞれ署名の上各自1通を保管する。

2018年 月 日

甲 島根県立大学  
島根県立大学短期大学部  
学長 清原正義

乙 成蹊大学  
学長 北川 浩

## 平成29年度卒業生の就職状況

学部	卒業生数	就職希望者数	就職内定者数		内定率			
			うち県内	うち、県内出身者の県内内定	県内内定率	うち、県内出身者の県内内定率		
総合政策学部	216	206	198	63	55	96.1%	31.8%	75.3%

学部	卒業生数	就職希望者数	就職内定者数		内定率			
			うち県内	うち、県内出身者の県内内定	県内内定率	うち、県内出身者の県内内定率		
看護学部 看護学科	80	68	68	34	32	100.0%	50.0%	72.7%
別科 助産学専攻	18	17	17	8	7	100.0%	47.1%	100.0%
計	98	85	85	42	39	100.0%	49.4%	76.4%

学部	卒業生数	就職希望者数	就職内定者数		内定率			
			うち県内	うち、県内出身者の県内内定	県内内定率	うち、県内出身者の県内内定率		
健康栄養学科	41	30	30	18	17	100.0%	60.0%	77.3%
保育学科	53	52	52	39	39	100.0%	75.0%	100.0%
総合文化学科	138	116	112	77	70	96.6%	68.8%	87.5%
計	232	198	194	134	126	98.0%	69.1%	89.4%

## 平成30年度入学者選抜の状況

	募集定員	出願者数		受験者数		合格者数		入学者数			志願倍率	実質倍率	県内入学者割合	
		県内		県内		県内		県内	男	女				
総合政策学部 総合政策学科	220	1,192	(176)	987	(142)	363	(67)	259	(63)	(178)	(81)	5.42	2.72	24.3%

	募集定員(A)	出願者数(B)		受験者数(C)		合格者数(D)		入学者数			志願倍率(B/A)	実質倍率(C/D)	県内入学者割合	
		県内		県内		県内		県内	男	女				
看護栄養学部 看護学科	80	298	154	251	128	89	54	80	53	9	71	3.73	2.82	66.3%
看護栄養学部 健康栄養学科	40	134	57	115	46	44	22	42	22	2	40	3.35	2.61	52.4%
別科 助産学専攻	18	66	19	65	19	19	9	18	9	0	18	3.67	3.42	50.0%

	募集定員	出願者数		受験者数		合格者数		入学者数			志願倍率	実質倍率	県内入学者割合	
		県内		県内		県内		県内	男	女				
人間文化学部 保育教育学科	40	130	(65)	116	(54)	46	(25)	43	(25)	(7)	(36)	3.25	2.52	58.1%
人間文化学部 地域文化学科	70	215	(114)	156	(88)	75	(46)	74	(46)	(16)	(58)	3.07	2.08	62.2%

	募集定員	出願者数		受験者数		合格者数		入学者数			志願倍率	実質倍率	県内入学者割合	
		県内		県内		県内		県内	男	女				
保育学科	40	150	(105)	134	(91)	53	(38)	42	(30)	(5)	(37)	3.75	2.53	71.4%
総合文化学科	40	168	(119)	149	(104)	61	(49)	44	(32)	(4)	(40)	4.20	2.44	72.7%

平成30年5月14日  
 公立大学法人島根県立大学  
 担当:キャリアセンター長 久保田 典男  
 キャリア支援室長 俵 正光  
 電話:0855-24-2202(キャリア支援室)

■浜田キャンパス進路決定状況集計表(H30年5月1日現在)

学部	卒業者数	就職希望者数	就職内定者数		内定率		進学者数	その他【自営・家事手伝い等・就職・進学希望なし(未内定除く)】
				うち県内		県内内定率		
総合政策学部	216	206	198	63	96.1%	31.8%	1	9

※春学期卒3名を含む

●主な就職内定先 ※( )内は人数、( )を付していないものは1名

県内	民間	今岡工業、大畑建設、島根電工、イマックス、サンクラフト、出雲村田製作所(2)、キーパー、リョーノーファクトリー、パナソニックESソーラーシステム、タカハシ包装センター、久保田味噌こうじ店、垣崎醤油店、ヒラタ精機、ミック、山陰ケーブルビジョン、石見ケーブルビジョン、World Utility、テクノプロジェクト、東京靴、日産部品山陰販売、島根トヨタグループ(2)、今井書店、リコージャパン(2)、原商、協同組合島根県鐵工会、山陰パナソニック、山陰合同銀行(5)、日本海信用金庫(2)、島根銀行(3)、島根中央信用金庫、全国共済農業組合連合会島根県支部、カチタス、クレヴァー、アセット、浅利観光、LPCグループ(3)、パルス建設コンサルタント、島根県農業協同組合くまびき地区本部、島根県農業協同組合
	公務	島根県、松江市、益田市、江津市、雲南市、津和野町、島根県警(3)、浜田市消防、島根県立隠岐島前高校(講師)
県外	民間	イシイ、阪神高速道路、西村風見園、日本空港テクノ、コウテイ建設、中国水道工業、マルニ木工、源、三洋工業、福助工業、YKK AP、再春館製菓所、白十字、潮冷熱、EH(エクセルヒューマン)、科研製菓、日本新薬、日本化薬、アサゴエ工業、有元プラント、オカダアイオン、ユニ・チャーム国光ノンウーヴン、広島アルミニウム工業(2)、榮太樓總本舗、千代田精機、タニコー、中国電力、東京ガス、アルテックス、アソート、エヌ・ティ・ティ エムイー、シーエスアイ、九州東芝エンジニアリング、光通信、福井新聞社、名港海運、西日本旅客鉄道、ヤマト運輸、中国ターミナルサービス、日本郵便(2)、全日本空輸(2)、春秋航空日本、トヨタカローラ広島、エナジーサプライ、アンフィニ広島、シィメス、パル、ププレひまわり、小西共和ホールディング、カイトック、ゲオホールディングス、エディオンコミュニケーションズ、エコ関西、ELJソーラーコーポレーション、ENEOSフロンティア、ローソン、メディック、アシード、シナネンホールディングス、日本酒類販売、山口フィナンシャルグループ、中国銀行、広島銀行、熊本銀行、西中国信用金庫、萩山口信用金庫、呉信用金庫(2)、中国総合信用、中央労働金庫、新生フィナンシャル、第一生命保険、日本年金機構、セキスイハイム中四国、宝不動産、穴吹工務店、大東建託、東建コーポレーション、トラスティパートナーズ、アセット、オンダ国際特許事務所、シブス、バリューマネジメント、tachimachi、LEOC、リゾートトラスト、松山総合開発、四季、アイ・ケイ・ケイ、成基コミュニティグループ、イーオン、四ツ葉会、全国健康保険協会、ニチイ学館、国立病院機構(中国四国グループ(2)、東海北陸グループ)、サンキ・ウェルビー、日田市医師会、モード・プランニング・ジャパン、ソウルドアウト、国際ビジネスコミュニケーション協会、アスタッフ、マイナビ、マーキュリー
	公務	国税庁(高松国税局)、法務省入国警備官、広島市、西条市、庄原市、加西市、東庄町、三重県(市町立小中学校職員)、岡山県警察(2)、福井県警察、岡山市消防、倉敷市消防、自衛隊幹部候補生

●主な進学決定先 慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科

<参考 H28年度>H29年5月1日現在

学部	卒業者数	就職希望者数	就職内定者数		内定率		進学者数	その他【自営・家事手伝い等・就職・進学希望なし(未内定除く)】
				うち県内		県内内定率		
総合政策学部	219	204	200	46	98.0%	23.0%	8	7

■出雲キャンパス内定状況集計表(H30年5月1日現在)

学科	卒業者数	就職希望者数	就職内定者数		内定率		進学者数	その他【自営・家事手伝い等・就職・進学希望なし(未内定除く)】
				うち県内		県内内定率		
看護学部 看護学科	80	68	68	34	100.0%	50.0%	11	1
別科 助産学専攻	18	17	17	8	100.0%	47.1%	0	1
計	98	85	85	42	100.0%	49.4%	11	2

●主な内定先 ※( )内は人数、( )を付していないものは1名

看護学部看護学科	保健師	雲南市、奥出雲町、邑南町(2)
	看護師	島根県立病院(9)、島根大学医学部附属病院(3)、出雲市民病院、出雲徳洲会病院、江田クリニック産婦人科、松江赤十字病院(7)、松江生協病院(2)、松江市立病院、東部島根医療福祉センター、国立病院機構浜田医療センター、公益社団法人益田医師会(2)、益田赤十字病院 鳥取大学医学部附属病院(4)、鳥取中央病院、広島大学病院(2)、広島市立病院機構広島市民病院(3)、日本鋼管福山病院、徳山中央病院、山口大学医学部附属病院、山口赤十字病院、神戸市民病院機構(3)、神戸大学医学部附属病院(2)、神戸赤十字病院、聖フランシスコ会姫路マリア病院、兵庫県立こども病院、兵庫県立加古川医療センター、関西医科大学附属病院、近畿大学医学部附属病院、石切生喜病院、京都大学医学部附属病院、滋賀県立小児保健医療センター、日本医科大学病院、東京大学医学部附属病院、静岡赤十字病院、松山赤十字病院、済生会熊本病院、日赤長崎原爆病院
別科助産学専攻		島根大学医学部附属病院(3)、松江赤十字病院、大田市立病院、浜田医療センター、益田赤十字病院(2) 日本赤十字社医療センター、大阪母子医療センター、東大阪市立センター、鳥取大学医学部附属病院、広島大学病院、医療法人あかね会土谷総合病院、香川大学医学部附属病院、徳島赤十字病院、徳島県立中央病院

●主な進学決定先 ※( )内は人数、( )を付していないものは1名

看護学部看護学科	島根県立大学別科助産学専攻(6)、島根県立大学看護学研究科(2) 岡山大学養護教諭特別別科(2)、熊本大学養護教諭特別別科
----------	--

<参考 H28年度>H29年5月1日現在

学科	卒業者数	就職希望者数	就職内定者数		内定率		進学者数	その他【自営・家事手伝い等・就職・進学希望なし(未内定除く)】
				うち県内		県内内定率		
看護学部 看護学科	77	66	66	31	100.0%	47.0%	10	1
別科 助産学専攻	18	18	18	12	100.0%	66.7%	0	0
計	95	84	84	43	100.0%	51.2%	10	1

■松江キャンパス進路決定状況集計表(H30年5月1日現在)

学科	卒業生数	就職希望者数	就職内定者数		内定率		進学者数	その他【自営・家事手伝い等・就職・進学希望なし(未内定除く)】
				うち県内		県内内定率		
健康栄養学科	41	30	30	18	100.0%	60.0%	10	1
保育学科	53	52	52	39	100.0%	75.0%	0	1
総合文化学科	138	116	112	77	96.6%	68.8%	13	9
計	232	198	194	134	98.0%	69.1%	23	11

●主な就職決定先 ※( )内は人数、( )を付していないものは1名

健康栄養学科	栄養士	病院	松江赤十字病院(2)、社会福祉法人昌林会安来第一病院、益田赤十字病院、医療法人山口平成会山口平成病院
		企業	富士産業株式会社、富士産業株式会社山陰事業部(2)、日清医療食品株式会社中国支店(3)、エームサービス株式会社(2)、有限会社ファルテック、株式会社日京クリエイト
		高齢者社会福祉施設・保育園	社会福祉法人やまゆり、社会福祉法人わたりはし保育園、社会福祉法人きんろう保育園、社会福祉法人シオンの国シオンこひつじ保育園、社会福祉法人出東福祉会出東保育園
	公務員等・一般職		株式会社島根銀行、株式会社出雲村田製作所、株式会社ニチイ学館松江支店、有限会社玉造皆美、有限会社まつえファーマシー、株式会社泰和、株式会社パッケンモーツアルト、愛媛トヨペット株式会社、山口日産自動車株式会社、株式会社井ゲタ竹内
保育学科	保育士、幼稚園教諭	社会福祉法人、保育園等	梅賀山保育園、社会福祉法人大田市社会福祉事業団相愛保育園(2)、社会福祉法人米子福祉会(2)、社会福祉法人きんろう保育園、社会福祉法人西園保育園、社会福祉法人壽光会たいしゃ保育園、社会福祉法人ねむの木福祉会(3)、社会福祉法人みどり愛児会みどり保育園、社会福祉法人江和会うさぎ山こども園、社会福祉法人平田福祉会(2)、社会福祉法人つわぶき(2)、社会福祉法人あすなろ会、学校法人光幼稚園認定こども園光幼稚園、社会福祉法人出雲北陽ほくよう保育園、社会福祉法人荘原福祉会(3)、学校法人かもめ幼稚園、社会福祉法人みその児童福祉会米子聖園ベビーホーム(2)、社会福祉法人慈潤会たちばな保育園(2)、社会福祉法人松生会、社会福祉法人めぐみの風えんげる保育園、社会福祉法人外園福祉会外園保育園、社会福祉法人みどり福祉会みどり保育園、社会福祉法人明星会ひろせ保育園、社会福祉法人豊川福祉会豊川保育園、社会福祉法人小鳩会たんぼ保育園、社会福祉法人湖陵福祉会ハマナス保育園、社会福祉法人愛耕福祉会(2)、社会福祉法人恵泉会愛恵保育園 社会福祉法人さくら会、学校法人良善幼稚園
		公務	松江市(3)、安来市、隠岐の島町、西ノ島町、東近江市、船橋市、三次市、倉吉市
		公務員等・一般職	株式会社さんわファクトリー
総合文化学科	公務員等		島根県(一般事務)(5)、島根県立宍道高等学校、松江市(4)、隠岐の島町、智頭町
	一般企業		株式会社山陰合同銀行(4)、株式会社島根銀行(4)、しまね信用金庫、島根中央信用金庫、広島みどり信用金庫、JALしまね、JAKにびき地区本部、JA共済連島根(2)、JA鳥取中央、JA鳥取西部、JA尾道、公益財団法人しまね産業振興財団、山陰三菱電機機器販売株式会社(2)、日産部品山陰販売株式会社、株式会社一畑百貨店、一畑電気鉄道株式会社、株式会社ホテル一畑(2)、株式会社トヨタレンタリース(2)、株式会社カルテック、株式会社ノジマ(3)、株式会社イーウェル(3)、株式会社玉造温泉まちデコ、株式会社ワイズテーブルコーポレーション、有限会社ファルテック、株式会社マルマン(3)、TBCグループ株式会社、流通株式会社、東京靴株式会社(2)、LPCグループ(2)、株式会社リブ・マックス、株式会社ヒューマンシステム、コニー株式会社、京阪ホテルズ&リゾート株式会社、株式会社葬仙、株式会社ホテルセントパレス倉吉、株式会社マリークワントコスメック、フジッコ株式会社、株式会社一六本舗、株式会社ヤマハミュージックマニュファクチャリング、ALSOK山陰株式会社、株式会社ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本、株式会社山陰オフィスサービス、マリエ・やしろ株式会社、株式会社ヤマタホーム、防長交通株式会社、フジキコーポレーション株式会社、株式会社ユナイテッドアローズ、株式会社今井書店、日ノ丸自動車株式会社(3)、山陰防災電機株式会社、株式会社丸三、株式会社さんれいフーズ、今岡工業株式会社、株式会社昭和測量設計事務所、久文建設株式会社、島根トヨペット株式会社、株式会社さんびる、社会福祉法人しらゆり会、セブインレブ、小西共和ホールディング株式会社、キンキテレコム株式会社、株式会社GRAZIE、株式会社エヴァー・グリーン、社会福祉法人正光会松が丘病院、やしまグループ、株式会社パローホールディングス、株式会社松江浜乃木自動車教習所、株式会社ジュンテンドー、有限会社玉造グランドホテル長生閣、有限会社白石家(3)、有限会社松江皆美館、ニューウェルシティ出雲、株式会社皆生グランドホテル(2)、株式会社ホテル第2松江(ホテルアルファワン)、いすゞ自動車中国四国株式会社、株式会社セツ、株式会社ふくしまほか

●主な進学決定先 ※( )内は人数、( )を付していないものは1名

健康栄養学科	島根大学生物資源科学部(3)、くらしき作陽大学食文化学部(3)、山口県立大学看護栄養学部、神戸女子大学家政学部、富山大学理学部、中村学園大学栄養科学部
保育学科	-
総合文化学科	島根大学生物資源科学部、島根大学法文学部(5)、島根県立大学総合政策学部(3)、高知大学人文社会科学部、松江総合ビジネスカレッジ(2)、デジタルハリウッドSTUDIO米子

<参考 H28年度>H29年5月1日現在

学科	卒業生数	就職希望者数	就職内定者数		内定率		進学者数	その他【自営・家事手伝い等・就職・進学希望なし(未内定除く)】
				うち県内		県内内定率		
健康栄養学科	39	28	28	20	100.0%	71.4%	9	2
保育学科	52	50	50	38	100.0%	76.0%	2	0
総合文化学科	148	122	117	78	95.9%	66.7%	16	10
計	239	200	195	136	97.5%	69.7%	27	12



平成 30 年 5 月 14 日

島根県立大学 国際交流センター

(担当：岩本・雪吹)

電話 0855-25-9063

## 【資料 3】

### 平成 30 年度海外実践活動支援制度 (GLOBAL DREAM HUNT) について

昨年度からスタートした競争的給付型奨学金「(第 2 期) 海外実践活動支援制度 (GLOBAL DREAM HUNT)」を今年度も募集します。当事業は、島根県立大学未来ゆめ基金を原資としており、個人・法人・団体等の皆様からの寄附金で運用されています。

#### 1. 事業の目的

近年、海外の大学で“勉強”するだけでなく、企業や NGO でインターンをするなど様々な目的（動機）の“留学”が広がりを見せています。そこで、一人でも多くの学生が海外での「夢への挑戦」、「実践活動」を実現できるよう、様々な海外活動を支援します。海外活動を通じて、国際的視野を広め、チャレンジ精神、行動力、積極性を養い、さらなる夢への挑戦、留学への動機づけを目的とします。そして、地球規模の視野で考えて地域視点で活動する、あるいは地域視点で考えて地球規模で行動できる人材を育成します。

(※) ここでの「実践活動」とは、座学や知識の蓄積型ではなく「実社会との接点」から多様な学びを得ることができる学修活動（インターンシップ、フィールドワーク、ボランティア、課題解決型学習に限らず、上記の趣旨に沿う多様な学修活動）のことをいいます。ただし、危険を伴う活動等、当事業の対象とならない活動の指定があります。

#### 2. 支援額と募集枠数

- 個人枠 上限 15 万円 × 3 名程度
- 団体枠 上限 30 万円 × 3 団体程度

#### 6. 選考方法

書類審査（一次選考）を経て、プレゼンテーション（二次選考）で決定します。

#### 7. 審査項目

申請計画内容について、以下の(1)～(5)について評価を行います。

##### (1) 計画に独創性・自分（達）らしさがあること

自分（達）ならではのストーリーをもつ企画かどうか、自分の興味やこれまでの活動実績等

##### (2) 計画は具体的で実現可能であること

計画の内容が、目的や目標を達成するに当たって適切かどうか

##### (3) 目的・達成目標が明確に設定されていること

なぜそこに行きたいか、そこで何をどこまでやりたいのかの想い

##### (4) 海外活動における安全対策

渡航先および活動内容について想定されるリスクとその対策をどう考えるか

##### (5) 帰国後の活動方針について

海外渡航により得た成果を将来的にどのように活かしてゆくか



## 8. 事業スケジュール

- 募集開始 : 平成 30 年 4 月上旬
- 申請書提出期限 : 平成 30 年 5 月 18 日 (金) 17 時まで
- 一次選考 (書類審査) 結果通知 : 平成 30 年 5 月下旬
- 二次選考 (プレゼンテーション) : 平成 30 年 6 月 15 日 (金)
- 採否結果の通知 : 平成 30 年 6 月下旬
- 事前研修 : 平成 30 年 7 月 7 日 (土)・8 日 (日))
- 渡航 : 事前研修後に出発可
- 報告会 (ホスターセッション等) : 平成 31 年 3 月末日までに実施します

## 9. 事前研修

採択者を対象に、「1泊2日合宿研修」を実施します。同じ志を持つ他キャンパスの学生との交流を通じて活動計画をブラッシュアップします。最終日には各自の企画を発表します。

- 日程 : 平成 30 年 7 月 7 日 (土) 13 時から ~ 8 日 (日) 13 時まで
- 場所 : アサリハウス (島根県江津市浅利町 166-2・TEL 090-5862-0555)

## 10. 参考資料 (昨年度の取組み状況)

応募数 6 団体 5 個人 ⇒ 3 団体 2 個人が活動完了した

	応募者数	1次通過者数	最終決定者数	活動完了
浜田キャンパス	3 団体・2 個人	1 団体・2 個人	1 団体・2 個人	1 団体・2 個人
出雲キャンパス	2 団体・2 個人	1 団体・2 個人	1 団体・1 個人	1 団体・0 個人
松江キャンパス	1 団体・1 個人	1 団体・0 個人	1 団体・0 個人	1 団体・0 個人



# Global Dream Hunt

平成30年度海外実践活動支援制度

第2期生

募集

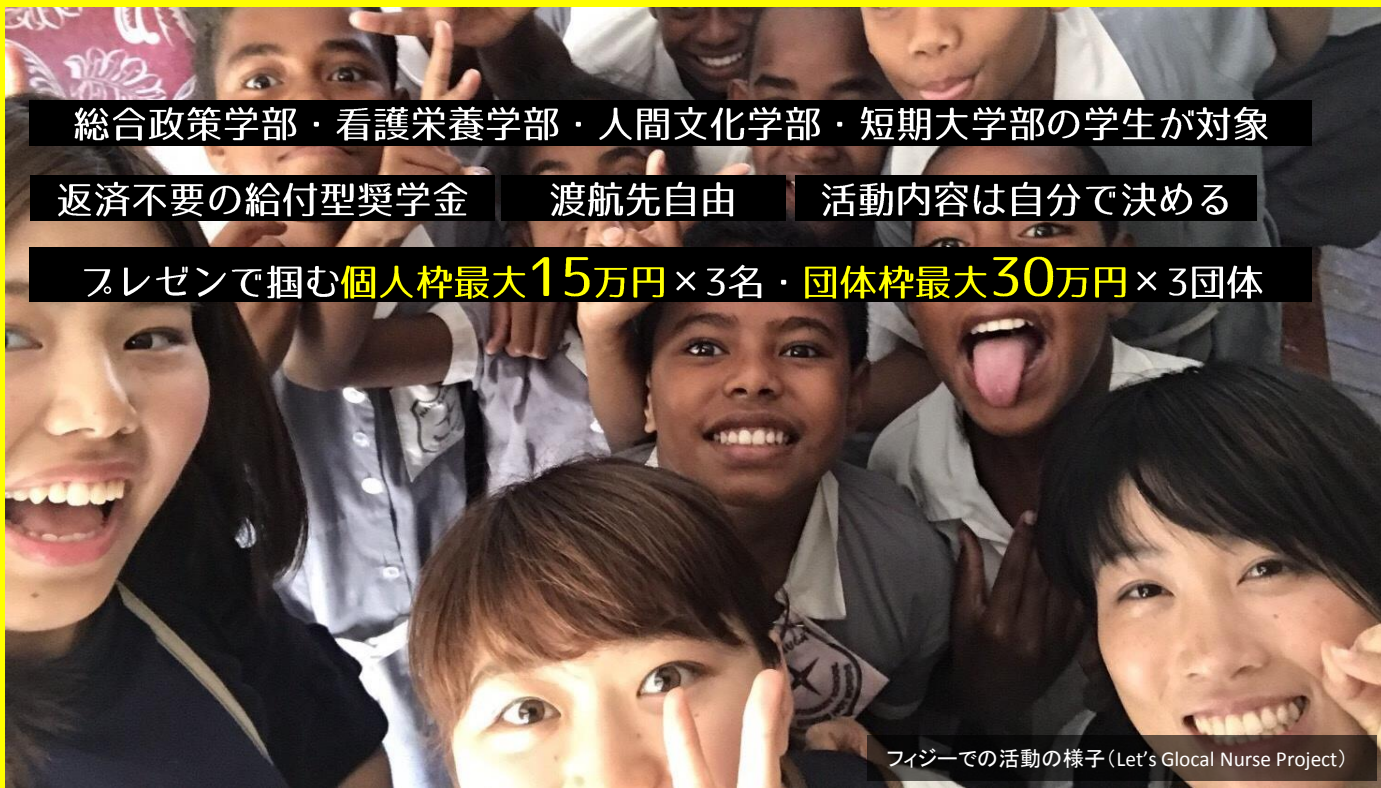
総合政策学部・看護栄養学部・人間文化学部・短期大学の学生が対象

返済不要の給付型奨学金

渡航先自由

活動内容は自分で決める

プレゼンで掴む個人枠最大15万円×3名・団体枠最大30万円×3団体



フィジーでの活動の様子 (Let's Glocal Nurse Project)

## 君の好奇心を呼び覚ませ！ さあ、Let's be GLOCAL！

### 募集締切

5/18(金)17:00

近年、海外の大学で“勉強”するだけでなく、企業やNGOでインターンをするなど様々な目的の“留学”が広がりを見せています。そこで、一人でも多くの学生が海外での「夢への挑戦」、「実践活動」を実現できるよう、学生自らが計画する様々な海外活動を支援します。自ら計画する海外活動を通じて、国際的視野を広め、チャレンジ精神、行動力、積極性を養い、さらなる夢への挑戦、留学への動機づけを目的とします。そして、地球規模の視野で考えて地域視点で活動する、あるいは地域視点で考えて地球規模で行動できる人材を育成します。

### ユニークな海外実践活動を大学が応援。たとえばこんな・・・

ゼミ仲間と東南アジアの村で英語の読み聞かせをしたい。そして一緒に絵本をつくりたい！

サークルの夏季合宿と親善試合を協定大学でおこない交流を深める！戦術を学びあう！

最先端の在宅緩和ケア・難病ケアを誇る英国のホスピスで学び、島根に還元したい

台湾の旅行会社でインターンシップをし、SNSを活用した島根の 프로모ーション策を打ち出す！

- 問い合わせ窓口・書類提出先：島根県立大学 国際交流センター  
(浜田キャンパス 国際交流課・出雲キャンパス 教務学生課・松江キャンパス 地域連携課)
- ホームページはこちら

<http://www.u-shimane.ac.jp/effort/international/GDH/>



募集要項は事務局窓  
口で配布しています

# 個人枠と団体枠の2つのコースで募集

**【個人枠】 上限15万円 × 3名程度** ※予算計画に応じて支給額を決定 ※予算の範囲内で採択枠を決定

## 対象者

- ・ 本学（総合政策学部・看護栄養学部・人間文化学部・短期大学部）に在籍する学生

## 募集分野

- ・ 海外でのインターンシップ、フィールドワーク、ボランティア等の実践活動
- ・ スポーツ、アート、教育、研究、メディア、観光、ファッション、日本文化の広報活動（伝統芸能・伝統工芸等）等の分野
- ・ その他、事業の目的に沿った学生オリジナルの分野

**【団体枠】 上限30万円 × 3団体程度** ※予算計画に応じて支給額を決定 ※予算の範囲内で採択枠を決定

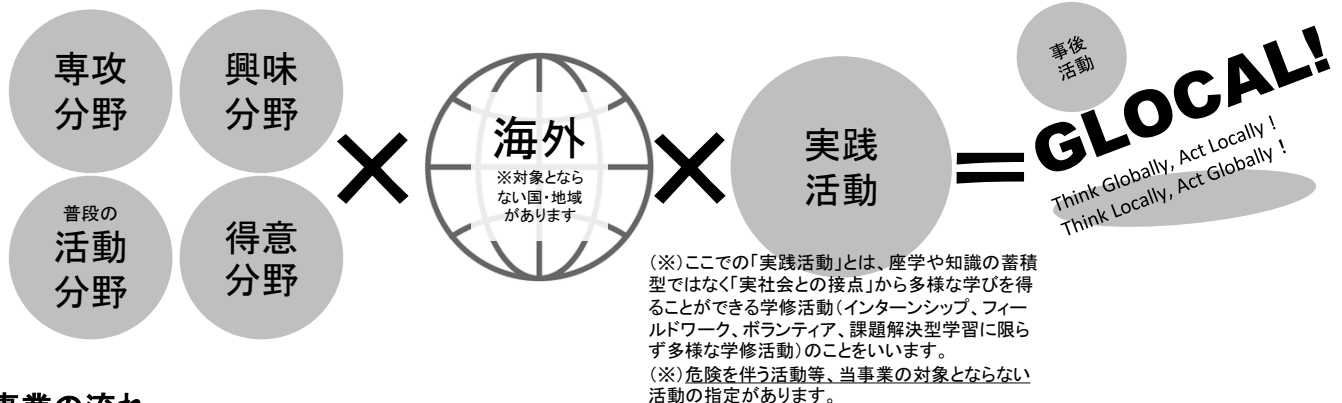
## 対象団体

- ・ 本学（総合政策学部・看護栄養学部・人間文化学部・短期大学部）に在籍する学生が構成する3名以上の学生団体（クラブ、サークル、同好会、ゼミ、あるいは、新たに設立したグループでもよい）。

## 募集分野

- ・ 団体の活動に関する海外での実践活動等、他大学との交流等
- ・ 団体の活動に関する海外での試合、コンペ、上演会、シンポジウム等への参加等
- ・ その他、事業の目的に沿った学生オリジナルの分野

企画内容は切り口次第で無限大。君色に企画を染めてみよう！



## 事業の流れ

### 平成30年度事業期間

4月	5月	6月	安全対策講座：7月中(日程調整中) 合宿研修：7月7日(土)～8日(日)	事前研修後～	3月
相談期間	選考	事前研修 ※事前研修は参加必須です	海外活動期間	報告会	
渡航先や活動内容について、所属するキャンパスの国際交流センターや、ゼミの先生等に相談をしてみましょう。	審査の観点に基づいて、書類選考とプレゼンテーション審査をおこないます。会場は各キャンパスです。	1泊2日の合宿研修をおこないます。同じ志を持つ他キャンパスの学生との交流を通じて仲間ができる！計画が研ぎ澄まされる！   会場：アサリハウス (江津市浅利町166-2)  ゲスト審査員：中村純二氏 津和野町教育魅力化コーディネーター/ 一般社団法人ツワモノ代表理事/厨ファミリア代表 大学卒業後、埼玉県と東京都で小中学校の教員として勤務。2009年よりマダガスカルで、青年海外協力隊として教員養成プロジェクトに取り組む。2013年より、津和野高校の高校魅力化コーディネーターとして赴任。町営塾の開設や地域系部活動の新設などの実施により全国から生徒が集まる高校になる。2016年より、一般社団法人ツワモノを設立し、津和野町の教育コーディネート業務を請け負う。 		活動体験を振り返り、自身の志や今後のキャリア形成について考えます。  	

詳細は募集要項を確認してください(募集要項は各キャンパス問合せ窓口で配布しています)





# Global Dream Hunt

2017年(平成29年)度海外実践活動支援制度(GLOBAL DREAM HUNT)成果報告書

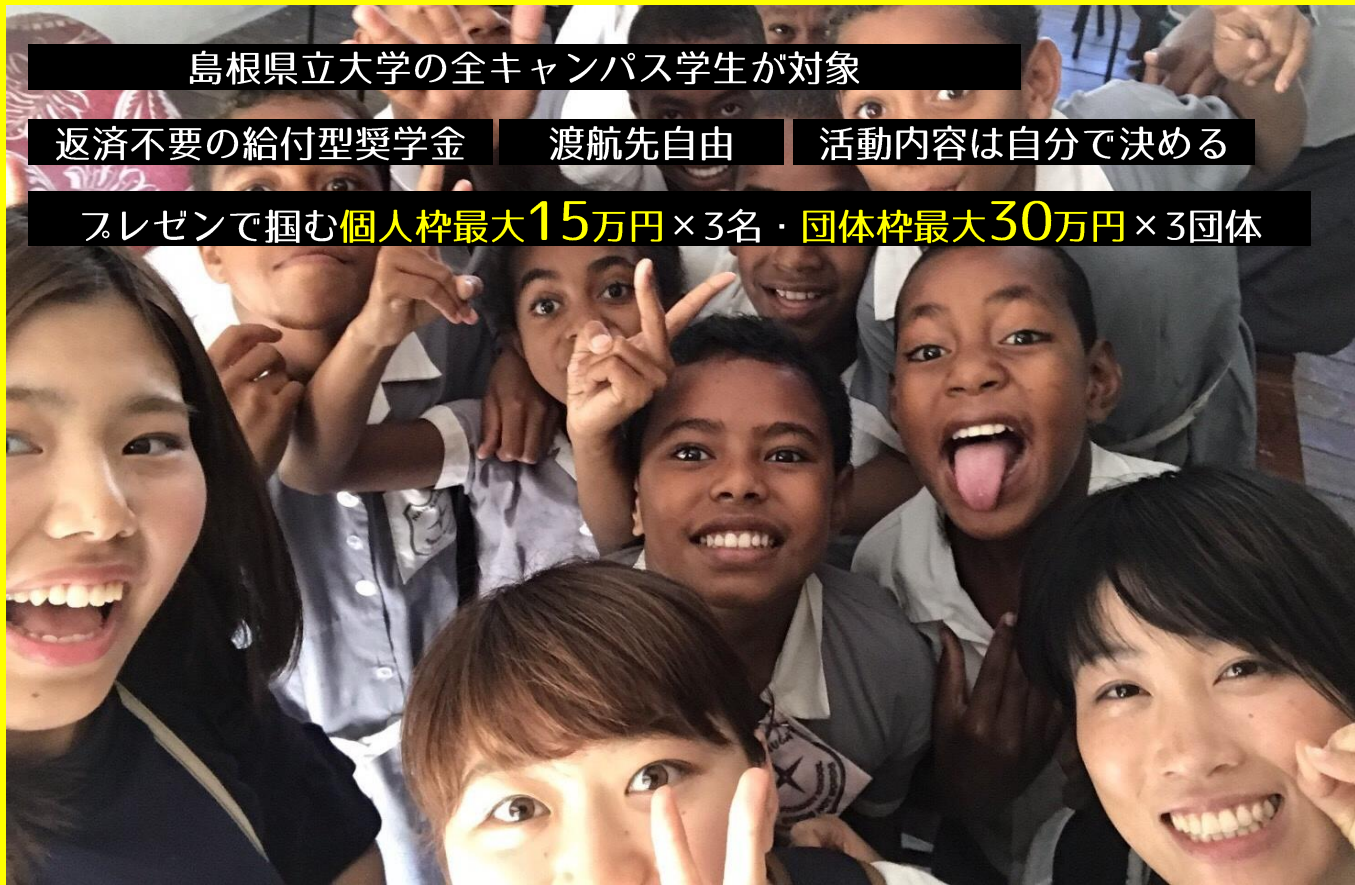
島根県立大学の全キャンパス学生が対象

返済不要の給付型奨学金

渡航先自由

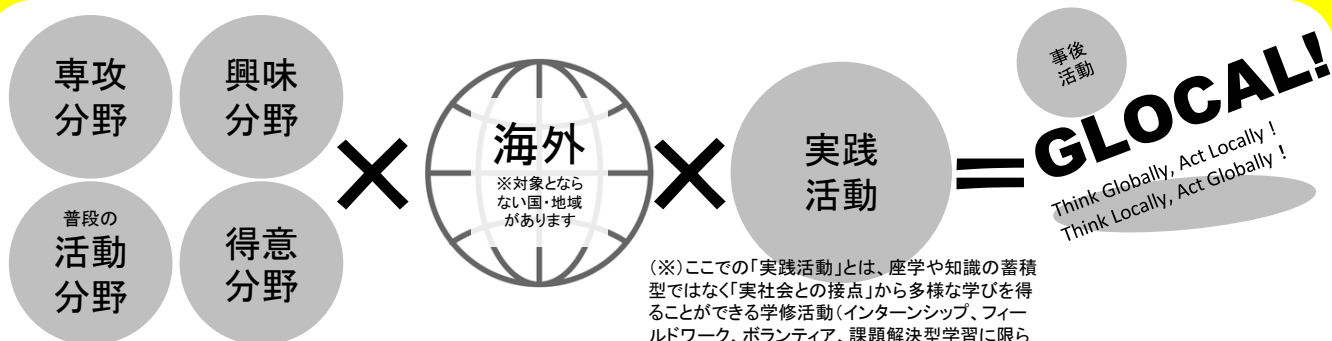
活動内容は自分で決める

プレゼンで選ぶ**個人枠最大15万円**×3名・**団体枠最大30万円**×3団体



一人でも多くの学生が海外での「夢への挑戦」、「実践活動」を実現できるよう、島根県立大学は、学生が計画する様々な海外活動を応援します。自ら計画する海外活動を通じて、国際的視野を広め、チャレンジ精神、行動力、積極性を養い、さらなる夢への挑戦、留学への動機づけを目的とします。そして、地球規模の視野で考えて地域視点で活動する、あるいは地域視点で考えて地球規模で行動できる人材を育成します。

企画内容は切り口次第で無限大。



(※)ここでの「実践活動」とは、座学や知識の蓄積型ではなく「実社会との接点」から多様な学びを得ることができる学修活動(インターンシップ、フィールドワーク、ボランティア、課題解決型学習に限らず多様な学修活動)のことをいいます。  
(※)危険を伴う活動等、当事業の対象とならない活動の指定があります。

## 海外実践活動支援制度(GLOBAL DREAM HUNT)実施内容

## 【平成29年度の流れ】

- ・ 募集説明会 各キャンパスで実施(5月上旬)
- ・ 募集締切(5月31日)
- ・ 1次選考書類審査(6月6日)
- ・ 最終プレゼンテーション審査(6月16日)@浜田キャンパス
- ・ 事前研修(7月8日~7月9日の1泊2日)@江津アサリハウス
- ・ 海外安全対策セミナー(全キャンパス)
- ・ COC+事業しまね大交流会に出展(11月18日)@くにびきメッセ
- ・ 活動発表会(1月31日)@浜田キャンパス

## 【審査委員】計4名

外部審査委員 合同会社EGAHOUSE & COMPANY CEO 江上 尚 氏(江津市浅利町)

国際交流センター 出雲キャンパス 山下副学長

松江キャンパス 岸本副学長(代理:小玉容子先生)

浜田キャンパス 国際交流センター長 ケイン・エレナ先生

## 【応募・選考状況】

応募数6団体5個人 ⇒ 3団体2個人が活動完了した

	募集締切時点	1次通過者	最終決定数	活動完了
浜田キャンパス	3団体・2個人	1団体・2個人	1団体・2個人	1団体・2個人
出雲キャンパス	2団体・2個人	1団体・2個人	1団体・1個人	1団体・0個人
松江キャンパス	1団体・1個人	1団体・0個人	1団体・0個人	1団体・0個人

## 【採択者(団体枠:30万円給付)】

団体名	韓国を鏡に私たちの世代の社会問題を考えるモイム
所属キャンパス・学部	浜田キャンパス・総合政策学部
プロジェクト名・キャッチフレーズ	韓国に行き、生の声を聞く！知る！対話する！考える！
渡航時期	9月に8日間
渡航先等	韓国ソウル(高麗大学校グローバル日本研究院等)

団体名	国際交流サークル
所属キャンパス・学部	出雲キャンパス・看護学部
プロジェクト名・キャッチフレーズ	TO BE A グローカル Nurse！～人生はホップ、ステップ、ジャンプ！～
渡航時期	9月に約2週間
渡航先等	フィジー(Nutrition and Dietetics & Diabetes Health Program Fiji)

団体名	TYDスクール
所属キャンパス・学部	松江キャンパス・短期大学部総合文化学科
プロジェクト名・キャッチフレーズ	Learning from International relations！
渡航時期	9月に約1週間
渡航先等	台湾・台中科技大学

## 【採択者(個人枠:15万円給付)】

採択者名	小山千紘
所属キャンパス・学部	浜田キャンパス・総合政策学部
プロジェクト名・キャッチフレーズ	カンボジアの観光・伝統文化復興プロセスを、島根の観光施策に取り込む
渡航時期	12月に1週間
渡航先等	カンボジア

採択者名	岩見しおり
所属キャンパス・学部	浜田キャンパス・総合政策学部
プロジェクト名・キャッチフレーズ	大学生にとって大切なものを探す旅～知る、そこから未来を考える～
渡航時期	8月に12日間
渡航先等	カンボジア、ベトナム



## 実施活動内容フォト

### 【審査会】



### 【事前研修の様子】



### 【しまね大交流会出展】



### 【活動発表会】





小山千紘

総合政策学部

採択枠

個人枠

渡航国

Cambodia

訪問先

NEW CAMBODIAN  
ARTISTS

渡航時期

12月に14日間

## GLOCAL MISSION

# カンボジアの観光・伝統文化復興プロセスを、島根の観光施策に取り込む

カンボジア国内における女性の社会進出と伝統芸能の復興を促進させるために、シムリアップにある伝統芸能舞台の集客戦略をゼロから考えてきました。取り組んだこととしては、団体全体のブラッシングからスタジオ内外のオペレーションの改善まで行うだけでなく、より多くの観光客に知ってもらうにはどのようなPR方法をとるべきかを考えました。PR方法を検討するために行った競合調査を経て、いままで行っていた訪問営業やパンフレットの内容では不十分な部分が多くあることに気づいたため、観光客目線で欲しい情報を補ったところ、伝統芸能に興味を持ってスタジオを訪れてくださる方が増えました。このことから、集客を増やすという目標を立てた際には、身近なところ改善すべきポイントがないかを改めて検証する必要があることを知りました。全体を通した大きな学びとしては、文化を復興させるためには地域住民の理解と協力を得る必要があるということが身をもって感じられました。理由としては、何かを広めたいという目的を達成するには「インフルエンサーによるロコミ」が威力を発揮するという事実を目の当たりにしたからです。伝統文化の復興に力を入れたと考えている影響力(Face Bookのフォロワー数など)を持った地域住民の方がSNSで情報発信を行うだけで、今まで伝統文化に興味持っていなかった層にもアプローチ出来る可能性が上がり、より多くの人に伝統文化を知ってもらう機会の提供になることを知りました。また、長期的に見て伝統文化の復興に取り組む際には、海外人にも文化に対する理解を得なければいけないので、文化が違う外国人が興味を抱くような効果的なPR方法も考えていく必要があると思いました。

## おしえて？苦勞したこと

集客戦略を考える際にターゲットとする外国人旅行客の選定、PR方法。今回は日本人をターゲットとして戦略を考えたのですが、観光客が伝統芸能の復興に興味を持つためにどのようなPR方法をすればいいかがわからなかったため、まずは自身がカンボジアという国を理解する必要があると考えました。そのために、カンボジアの社会問題(女性の社会進出、貧困、ポルポト政権による文化破壊)の解決に取り組んでいる団体の話を聞きにいき、どういった取り組みをしていて効果的なPR方法は何かを学んできました。同じ日本人の心をつかむPR方法がなにかを考える際に、今回お世話になったNEW CAMBODIAN ARTISTSのオーナーであるオランダ人とカンボジア人の方の理解を得ることとても苦勞しましたが、ミスコミュニケーションを防ぐためにこまめな気遣いをするなど、常にお互いに相手を理解しながら進めていくことに力を注ぎ、最終的には効果的な集客戦略が出来たと思います。

## 聞かせて？これからのミッション

### 島根県内のインフルエンサーを探し、効果的なPR方法を考える。

今回学んできたことから、島根県の伝統芸能の復興策を考える際に必要とされるポイントを3つ挙げます。

- ① インフルエンサーとなる人物のSNSで、島根県の伝統芸能について取り上げてもらう。  
理由としては、影響力がある人物が情報発信をすることで、今まで伝統芸能を知らなかった層にアプローチすることができ、興味を持ってもらう可能性が高くなるからです。まず、「知ってもらう」ことから始める必要があります。
- ② 島根県の伝統芸能の復興策を考える際に、ターゲット層の選定をする。  
理由としては、ターゲット層によりアプローチ方法が異なるからです。ターゲットの国籍、年齢、性別まで絞り込むことでより効果的なPRをすることが出来、結果的に多くの人を知ってもらう事につながります。
- ③ 宿泊施設などでPRを強化してもらい、“伝統芸能の復興に力を入れている地域”というブランディングをする。理由としては、観光客が情報収集を行う場としてよく利用されているのが宿泊施設だからです。ブランディングをすることで、進んで伝統芸能の鑑賞をしてくださる観光客が増える可能性があります。

具体的な施策に落とし込んでいませんが、島根県の伝統芸能を復興させるために小さなことから取り組んでいきたいと考えています。



## 活動の軌跡

# カンボジアの観光・伝統文化復興プロセスを、島根の観光施策に取り込む



オペレーション改善の一環として、スタジオ  
門前の清掃中



SNS広報用の看板も作りました



最終日の集合写真



競合調査としてPHAREのサーカスに行っ  
てきました



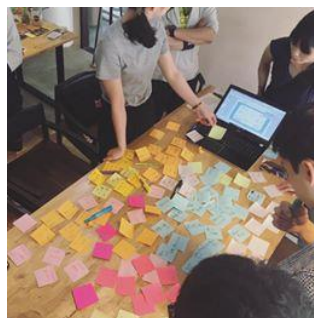
NEW CAMBODIAN ARTISTSの公演中



座席の配置をひな壇状にして、後ろのお客さん  
でも見やすいように改善



座席の改善をするために必要なものをバ  
イクの荷台に詰め込む作業



日本人観光客の心に訴えかけるキャッチ  
フレーズを選定中



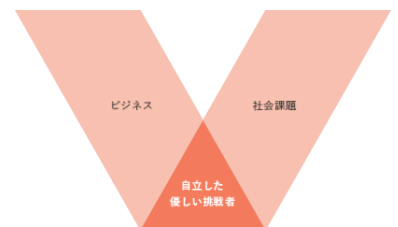
NPO法人かものはしの工場内には託児所が  
あり、お母さんは安心して仕事が出来ます



大晦日に街中を歩いていたら、民家の方  
に声をかけられ、ご飯をごちそうしてもら  
いました。



NPO法人かものはしの工場見学前に、カン  
ボジアの社会問題について説明をうけてい  
るところです。



NPO法人Very50主催するMoGというプロ  
グラムに参加をしました。「自立した優  
い挑戦者」を育てるために、無視  
できない社会問題をテーマとし  
たプロジェクト型教育プログラム  
を提供しているNPO法人です。



岩見しおり

総合政策学部

採択枠

個人枠

渡航国

Vietnam・Cambodia

渡航時期

8月に 12日間

## GLOCAL MISSION

# 大学生にとって大切なものを探す旅プロジェクト～知る、そこから未来を考える～

## 頑張る大学生の共通項とは？

### スタディーツアーに参加して分かった2つのこと。

学生向けのスタディーツアーに参加して、参加学生に「目的意識を持って頑張ろうと思ったきっかけは何か」というインタビューを行いました。参加者と話をする中で、目的意識を持って頑張ろうとする人は、①幼少期から英会話や本を読む機会に触れていた、②高校～大学時代に強く影響を受けた人物に出会ったうち両方か片方の経験があることがわかりました。この結果から、目的意識を持って頑張る学生は、周りの人や環境から刺激を受けた、すなわち、外的要因がきっかけで、活動的な大学生活を送っていることがわかりました。

## おしえて？ 苦労したこと

インタビュー対象者との距離の取り方に悩みました。私は参加学生に興味があってスタディーツアーに参加しましたが、他の参加者はスタディーツアーで途上国について勉強することを目的としており、私のインタビューが邪魔になってしまうのではないかと危惧していました。しかし、自分の参加目的やGDHでの目標を他の参加学生にしっかり伝えることで、向こうも快く話してくれました。自分をオープンにすることで、相手の信頼も得て内容の濃い話がたくさんできたと思います。

## 聞かせて？ これからのミッション

## 県立大学にとっての“良い”環境とは？ ー対話で探るー

私の活動に明確な答えは存在せず、終わりも見えないと思います。しかし、①“良い”環境に身を置けば何かしら頑張るきっかけが巡ってくることを伝えていくこと、また②その環境に送り出すこと、そして、③自分の手で“良い”環境を作っていくこと、以上3点がこれからの私にできることだろうと考えています。自分の周りの小さなコミュニティから、これら3つのことがじわじわと広がっていくように、地道にコツコツと「目的意識を持って頑張る魅力」を伝えていきます。



## 活動の軌跡

## 大学生にとって大切なものを探す旅プロジェクト～知る、そこから未来を考える～



みんなで談笑しながらの食事の時間が楽しかったです。毎食このような感じで食事をとっていました。同じ釜の飯を食うとも言いますが、食事を共にすることでグッと距離が縮まった気がします。



カンボジア、シェムリアップにあるBBQ屋さんで撮った1枚です。つまらなさそうな顔(左)をしています但像の真似をしたつもりです。この後、急性胃腸炎になり2日間入院しました(笑)



このスタディーツアーでは毎晩、その日の研修先で学んだことをディスカッションする時間や、日記の交換等がありました。これのおかげで参加者同士が何を考え感じているかを良く知ることができました。スタディーツアーで一番有意義な時間だったと思います。



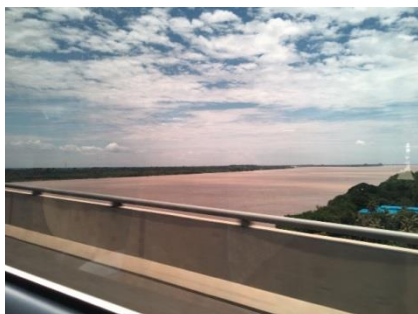
カンボジアの首都プノンペンの孤児院で日本のカレーを振る舞いました。30人以上は作った気がします。孤児院でお昼ご飯を作るという貴重な経験でした。美味しいと言ってきて嬉しかったです。



今回のスタディーツアーに参加したメンバーの集合写真です。初日にベトナムにある戦争証跡博物館で撮りました。



カンボジアの首都、プノンペンで見た途上国名物、バイクの大混雑です。1台のバイクに5人乗っていたり、ノーヘルメットだったり、日本では考えられない交通状況に驚きました。中心部から少し離れたところから中心部に通勤する人が多く、こんなに集中するそうです。交通事故も大きな社会問題になっています...



この写真は一見なんの変哲もない河の写真に見えますが、この風景は日本が援助で作った橋から見える風景なのです。



バスでの移動中、ふと横を見ると道端に捨てられたゴミたちと泡立った池のようなものがありました。急速な発展を遂げる、成長性のあるカンボジアですが、こういう形で見える発展の影を見過ごしてはいけないと強く思う写真です。



食あたりを起こし、急性胃腸炎で2日間入院しました。病院は、日本の病院とまったく変わらない設備と清潔さでした。ナースさんとの会話は全て英語で、弱った心身にムチを打って頑張りました。心の拠り所は、何故か視聴できたNHKの番組「お母さんといっしょ」でした。日本が非常に恋しくなった瞬間でした。



## GLOCAL MISSION

# 韓国に行き、生の声を聞く！知る！ 対話する！考える！プロジェクト

## 団体名

韓国を鏡に私  
たちの世代の社  
会問題を考える  
モイム

総合政策学部

## 採択枠

団体枠

## 渡航国

Korea

## 訪問先

陸軍士官学校、高麗大  
学、亜州大学、戦争記  
念館、鉄原(DMZ付近)  
など

## 渡航時期

9月に8日間

大学の講義参加、現地大学生、教授方との交流会、戦争記念館など博物館の見学、軍事境界線観光を行った。今回は特に、韓国人学生、教授との交流を重視し、そのため、観光で得ることのできない、韓国の就職事情、大学生の学生生活、などの社会問題を肌で感じることができた。

韓国の同世代の学生と交流することによって、就職の悩みをお互いに話し合い、韓国は就職が非常に厳しく、一流大学でも、60%しかストレートで就職できないこと、語学の資格がないと就職に非常に不利なこと、を知った。また兵役がそこに絡んでくるため、大学4年で卒業できることはほぼできないことも学んだ。

そして、中国の方と交流する機会もあり、韓国語と英語での日中交流するという貴重な経験もすることができた。

## おしえて？苦勞したこと

宿泊先を決めるとき、安さ重視で決めたので、宿泊先に洗濯機がなかったことです。宿泊したところが観光地だったので、近くにコインランドリーもなく、洗濯できる場所を探すのがとても大変でした。事前に宿泊先の施設の情報はもちろん、それだけでなく周辺の状況も調べることが大切だと思いました。

## 聞かせて？これからのミッション

## モイムからみんなへ～伝えたいこの想い～

今回の活動報告を海遊祭にて、韓国の就職問題、基地問題、徴兵制、北朝鮮の核開発問題、ソウルの観光地図、グルメを主に展示内容とし、展示ブースを設けました。その結果、地域の方々、学生、教員の方々から。多大な反響をいただき、海遊祭の優秀団体賞も頂くことができました。

今後の活動としては、海遊祭だけでなく自身で地域の人たちに発表する機会を設けたいと考えております。その一環として、金城の公民館にて、海遊祭で行ったような発表を来年の2月に開催する予定です。最終的には、自分たちの卒業論文に今回の活動を活かすと同時に、私たちの今後の糧にしたいと考えています。



## 活動の軌跡

## 韓国に行き、生の声を聞く！知る！対話する！考える！プロジェクト



亜州大学の国際サークルに所属する学生の皆さんと食事会！！日本に留学したことがある学生さんもいて、皆さん日本語がペラペラでした。日韓の文化やお互いの学生生活のことなどたくさん話すことができ、とても仲良くなれました。



明洞を一緒に散歩！亜州大学の食事会で仲良くなった学生さんに明洞を一日案内してもらいました！この写真は晩御飯にチキンを食べに行った時の写真です。一緒にショッピングしたり、カフェで話したり、とても楽しかったです。



陸軍士官学校に訪問！陸軍の将校を養成する学校がソウルにあるということで、見学しに行きました！その陸軍士官学校の中にある陸軍博物館という建物の前で記念撮影しました。陸軍の歴史や未来の将校たちの生活を実際に感じることができる場所です。



亜州大学と高麗大学でゲストスピーカーとして参加させて頂きました。韓国語や英語で学生生活や島根県立大学の紹介、研究分野についての発表、お互いに疑問に思っていることなどを質問しあったりもしました。韓国の学生は皆さん私たちの授業を熱心に聞いてくれ、積極的に発表してくれたので、良い授業になったと思います。特に日本に興味がある学生とは授業の後にお話をしたり連絡先を交換しました。



DMZトレインという電車に乗って板門店という韓国と北朝鮮の軍事国境線付近まで観光をしに行きました。電車のなかには韓国の軍服を試着できたり、戦時中の写真が飾ってありました。



高麗大学の教授にインタビューした後、食事会をしました。韓国料理のサムギョブサルという焼き肉のような料理をご馳走して頂きました。とてもおいしかったです



韓国にはいたるところに市場があります。平日の夜にも関わらず市場には多くの方が訪れとても賑わっています。おいしい食べ物やお酒などが多く集まる場所です。



## GLOCAL MISSION

## Learning from International relations !

どうすれば過去の歴史を乗り越えて国同士が仲良くなれるのかを考える。

1年生と2年生の2チームに分かれ、2日間アンケート調査を行った。1日目は、台北駅と西門駅周辺、2日目は台北駅と板橋駅で通訳と共に行った。アンケート内容は「日本が好きか」「その理由は何か」これを、年代別、地域別でシールの色を変え、回答してもらった。同じ内容を、台中科技大学の学生(約50名)にも回答してもらった。全体的に日本が好きだと答えてくれた人が、大半を占めた。大学生の意見では、“昔は昔、今は今。実際に自分たちが日本の支配下で暮らしていたわけではないから、日本を嫌う理由にはならない”という意見が多かった。想像以上に親日感情を持つ台湾人が多く、民間人と話すことでお互いのことをより理解することができた。次は、韓国でも、実際に民間人として接してみれば、お互いの理解につながるのではと感じた。

## 団体名

## TYDスクール

短期大学部  
総合文化学科

## 採択枠

団体枠

## 渡航国

Taiwan

## 訪問先

台中科技大学  
ほか台北・台中・台南

## 渡航時期

9月に5日間

## おしえて? 苦労したこと

### 台湾国内で街頭アンケートでは163名の方が協力をしてくれた

駅内では急いでいる人が多く、断られる回数も多かったため苦労した。しかし、バス停で待っている人に声をかけることや、駅内のベンチに座っている人にも積極的に声をかけるようにした結果、歩いている人よりも回答してくれる人が多かった。また、様々な地域、年代別にアンケート調査をしたいと考えていたが、台北中心に調査を行ったため、どうしても台北出身の人が主になってしまった。そこで、キャリアケースを持っている人は、台北以外から来た人が多いのではと考え、積極的に声をかけることや、台南方面から降りてくる人に話しかけるようにした。その結果、少数ではあるが台南出身の人にも話を聞くことができた。

## 聞かせて? これからのミッション

### みんなで考え、共有し、より良い日韓関係を築くためのヒントを導き出そう!

3か国(日本、韓国、台湾)の方に取ったアンケートをまとめ、私たちなりに考えた日韓関係について、サークル内に留めるだけではなく学外へ発信したいと考えている。そこでは、私たちが8月に韓日未来フォーラムで、韓国の学生と話し、考えた解決策を発表し、実際に自分たちで企画・実施したい。例えば具体的に、食文化をテーマに交流の場を設けたり、両国の伝統衣装のファッションショーを開いたり、身近な話題から、交流を広げていきたい。また、若い世代の意見を聞き、来年度からの活動の参考にしたいと考えている。このように、私たちだけでなく、たくさんの方と共に考える場を設け、意見を共有したいと考えている。



## 活動の軌跡

## Learning from International relations !



台北駅でのアンケートの様子



西門駅周辺のアンケートの様子



回答してくれた方との記念写真



台中科技大学の学生が迎えてくれた様子



科技大学で高校生にアンケート調査をしている様子



科技大学の生徒に話を聞いた後に記念撮影



大学生に町を案内してもらい、食事をした



日本語専攻の生徒に学内を案内してもらった







団体名

## 国際交流サークル

看護学部

採択枠

団体枠

渡航国

Fiji

訪問先

Namamanuca Primary  
School

渡航時期

9月に13日間

GLOCAL MISSION

# TO BE A グローカル Nurse ! ～人生はホップ、ステップ、ジャンプ！～

## フィジーの離島でヘルスプロモーション活動！

ホームステイや地域の方々の生活を実際に体験し、お話を聞くことで、地域の方々の健康状態や今必要な予防策について考えることができた。その考えを基に健康教育をすることで今後の地域の方々の健康状態の悪化を防ぐ手助けができたろう。よって地域での生活を実際に体験してヘルスプロモーション活動をすることが大切であると改めて実感した。

フィジーは公用語に英語が含まれているが、実際話す言葉はフィジー語。言葉だけでは伝わらない場面があった。しかし、私たちの伝える姿勢によって会話が成り立つことを学んだ。伝える姿勢は実際に看護を提供するときも一緒だと考え、今後も意識して生活していきたいと考える。

### おしえて？ 苦労したこと

低学年の子どもたちは英語を話せない子どもたくさんおり、コミュニケーションをとることが難しかった。伝える姿勢を大切にしたり関わりを行い、コミュニケーションがあまりにも難しい時には、英語・フィジー語を共に話すことができる大人や子どもたちに協力していただいた。

食生活や生活スタイルが日本とは異なり、体調管理が難しい時があった。電化製品がなく、新鮮な物が食べられない。また、蛇口をひねったら水が出ることはまずない。シャワーを浴びたり、トイレを使用するときには井戸から水を汲む必要がある。生活スタイルは私たちが変えることは不可能に近い。よって気合いと根性、子どもたちの笑顔でなんとか乗り越えることができた。

### 聞かせて？ これからのミッション

## TO BE A グローカル Nurse!

個人的には・・・もっと医療や看護の知識を知った上で、的確な生活習慣のアドバイスができる人材になりたいと考えるようになった。数年後、もし機会があったら、看護師として働きつつまたこの村に帰って健康教育を行いたい。

現地の人と英語を使ってコミュニケーションがとれた時に非常に感動した。国籍問わず看護を提供できるように日本でも英語の勉強に励みたいと思う機会になった。

団体としては・・・サークル内での活動報告を行い、出雲キャンパス内での情報の発信を行う。同じ志を持った仲間を増やし、個々の考え方を共有することで、私たちを含めた出雲キャンパス内の看護学生の視野を広げる。

・地域で暮らす外国人の方々の増加から学内での演習に参加してくれるSP患者さんの中に外国人の方を入れることで、より実践的な看護活動を学ぶ機会を提案する。



ホームステイ先は、学校の敷地内の先生の家。この日はTata's Day(父の日)でご飯が豪華だった。ご飯は、タロイモを焼いて作ったフィジーの伝統料理(ロボ)、ココナッツ&玉ねぎのソース(ロロ)、キャッサバ、パパが捕ってきてくれたロブスターと魚、村のチキン、麺、白米だった。どのご飯も味付けが濃かった。フィジーの方はあらゆるものにケチャップをたっぷりかけたり、ただのお湯や白米にも砂糖をかけて食べるという習慣があった。これにはとても目を疑った。



日本の紹介を紙芝居風にして子供たちに教えている様子。地球儀を用いながら日本とフィジーの位置、距離、かかる時間、首都、四季の違いをクイズ形式で紹介したり、日本の伝統料理や伝統スポーツを実演を交えながら紹介しました。フィジーのほとんどの車が日本車であったため、フィジーに進出している日本の会社の紹介もしました。



教員の血圧を測定している様子。ほとんどの教員は正常範囲内(120/80HmHg以下)であった。高血圧の要因の1つとして塩分の摂りすぎがあげられる。しかし、ここでは塩分を多く摂っているにも関わらず、血圧は正常範囲内であって驚いた。これには、ココナッツを毎日摂っていることも要因としてあげられる。日本でも、ココナッツオイルを多く摂ることをお勧めしたい。



子供たちに運動指導を行っている様子。ナースステーションに置いてあったパンフレットをもらい、それを用いて健康指導を行った。フィジーの学校でも健康教育の授業はあり、子供たちも健康に対する知識はある程度は持っていた。また、今後も健康に対して意識してもらうためにも学校にパンフレットを貼ってもらった。



麻疹の予防接種を打っている様子。この写真をみてわかるように、注射の針の先が膨れている。また、麻疹は普通皮下注射で、刺入部位は肩峰と肘頭を結んだ線の下から1/3の点である。打った後の腕の様子を見せてもらったが、その後変わった様子や跡は残っていなかった。しかし、予防接種を打っていても打ち方が違えば効果も違ってくるのかもしれないと思った。



教員の腹囲を測定している様子。もともと、この村には以前に他のボランティアも訪れていて、その時に使用されていた教員の健康指数表を基に健康管理を行った。このほかにも、身長・体重・臀部も測定し、その値からBMI指数を計算した。すると、ほとんどの教員は肥満であった。



Yanuya村にあるナースステーションで看護師からこの村の住民の健康に対する話を伺った。

この村の子供たちは、特に感染症(水痘症、風疹、麻疹)にかかる。したがって予防するために、ワクチンを接種している。

寿命は50~70歳くらい

肥満が多い。

結核も流行しており、去年は20代の方と50代の方が結核で亡くなっている。



また、この看護師の方も住民が生活習慣に問題があることは分かっているが、離島であるという問題もあってなかなか打開策も見つかっておらず、そもそも健康に対して危機意識が少ないように感じた。

不健康になる要因として以下のような点があげられる。

冷蔵庫などの電化製品がない。そのため、頻繁に新鮮なもの(野菜、肉、魚、果物)を食べることができず、保存食(クッキーや乾麺など)ばかり食べている。

周りが海で囲まれており塩水がかかることから、限られた食材(キャッサバ、タロイモ、ココナッツなどのエネルギー系の食品が多い)しか自家栽培することができない。そのため、食事のバランスが偏ってしまっている。

綺麗な水がない。ほとんど井戸水のようなところから汲んだ水を使っていた。食器を洗う時も、虫が浮かんでいる桶の中でゆすいでいた。また、学校ではご飯を食べる前に手を洗うという習慣があったが、その水自体が綺麗ではなく菌を共有しあっているように感じた。

フィジーが南国の島であり、年中気温が高い。そのため、頻繁に汗もかき濃い味付けのものが食べたくなくなってしまう。また、ここでは塩分高めと糖分高めのご飯ばかりであったため、塩味・甘味は取れているが、苦み・酸味(うまみ)がとれていないため、食べ過ぎになってしまう。

この村では医療費は全額無償であり、毎日多くの住民が診察にくる。

ボランティア最後の日、一部の教員の方とホームステイ先の子供たちとの写真。



当初、世界各国のボランティアと一緒に健康教育に関する討論をしながら健康指導を行う予定だったが、行ってみたら私たち3人だけであった。まだ学生であり、指導できる範囲は限られていた。3人で話し合い、どのように進めていくかを決め、あらかじめもらっていた100頁を超えるような海外での健康教育に関する資料に再び目を通した。それを参考にしながら、この村の子供たちや教員に焦点をあてて資料作成など準備を行った。

健康教育以外でも毎日子供たちと関わっていた。一緒に海に行って海ブドウを摂ったり、協力しながら山に登ったり、野犬に追いかけられたり、豚に餌をやりに行ったり、折り紙をつくりたり、サッカーをしたり、腕相撲をしたりなど多くの時間を共にし、多くのことを体験した。この島は、周りが海で囲まれていたり険しい山や岩がたくさんあったり、野犬・野良猫・豚・ヤギ・鶏がいいたりして、普段の生活では経験できない多くのことを直接、肌で感じることができた。何にも縛られずのびのび・いきいきと生活している姿や会う人会う人が「BULA!(こんにちは)」と言うこの気さくな人柄は、きっとこの生活環境に影響があると感じた。事前学習だけでは足りず、実際に海外に行ってみなければ気づけないこともある。そして、実際に行くことで自分自身の気持ちの変化や成長を感じることができた。また、今自分たちに足りていないことは何かにも気づくことができた。今回のボランティアを通して、非常に多くの貴重な経験をすることができた。私たちがこうしてボランティアに参加できたのも、学校でGDHという企画があり、奨学金をもらいながら行くことができたからである。私たちの企画はなかなか上手く進行せずテスト前やテスト期間中も集まって遅くまで考えた。しかし、事前準備の段階で同じ志を持った他キャンパスの学生と話し合う機会があり、自分の意欲も上がったり、実際に渡航したことすべてを含めて、一生忘れられない素晴らしい思い出や深い人間関係を築くことができた。この企画は、準備段階から事務の方にもたくさんお世話になっている。多くの方の支えがあって、無事に行き帰ってくるすることができた。すべての関係者の方々には本当に感謝している。

平成30年5月14日

島根県立大学浜田キャンパス

担当：国際交流課 岩本哲

電話：0855-25-9063

## 【資料 4】

### 平成 29 年度 国際交流報告書の発行について

この度、本学各キャンパスで実施している国際交流事業等に係る報告書を作成しました。

この報告書は、昨年度に実施した様々な国際交流事業の様子を紹介しています。

#### 主な内容：

- ・ 海外大学との交流の様子（訪問・受入）
- ・ 海外実践活動支援事業（GLOBAL DREAM HUNT）
- ・ 短期日本語・日本文化研修（夏期・冬期）
- ・ 国際交流推進支援事業（みんながつながる国際交流プロジェクト）
- ・ 学内国際交流イベント
- ・ 政府実施海外派遣事業への学生派遣
- ・ 海外企業研修（インド）
- ・ 異文化理解研修（中国、韓国、ロシア、アメリカ）

など

#### ホームページ

[http://www.u-shimane.ac.jp/international/international\\_report/](http://www.u-shimane.ac.jp/international/international_report/)



公立大学法人  
島根県立大学



島根県立大学  
マスコット  
キャラクター  
オロリン

平成 30 年 5 月 14 日

島根県立大学浜田キャンパス

担当：石田 徹（総合政策学部）

山本（企画調整室）

電話：0855-24-2201（企画調整室）

## 【資料 5】

### 平成 30 年度 北東アジア地域研究センター（NEAR センター）市民研究員 第 1 回 全体会の開催について

#### 1. 目的

島根県立大学北東アジア地域研究センター（NEAR センター）では、市民研究員登録制度を通じて、北東アジアや国内の地方・地域の諸問題に関心をお持ちの市民の方々の幅広いご見識・ご経験を、NEAR センター研究員・大学院生と共有しております。

このたび、平成 30（2018）年度 NEAR センター市民研究員第 1 回全体会を下記要領で開催いたします。市民研究員にご登録の上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

#### 2. 日時

平成 30 年 5 月 19 日（土） 午後 1 時 00 分～午後 4 時（終了時刻は予定）

#### 3. 場所

島根県立大学浜田キャンパス 講義・研究棟 1 階 中講義室 3

#### 4. 主催者

島根県立大学北東アジア地域研究センター（NEAR センター）

#### 5. 内容

- (1) 挨拶
- (2) NEAR アカデミック・サロン
- (3) 参加者自己紹介（NEAR センター研究員、市民研究員、大学院生）
- (4) 記念撮影
- (5) グループ・リサーチ・サロン／共同研究の情報交換  
（共同研究計画書・申請書作成ガイダンス＜希望者のみ＞）
- (6) 施設案内＜希望者のみ＞

#### 6. 出席者・参加人数

40 名程度（島根県立大学教職員 10 名、大学院生 10 名、市民研究員 20 名、その他若干名）

#### 7. 参加方法・参加費

市民研究員に登録の上、ご参加ください（登録費・参加費は無料）。市民研究員への登録方法など詳細は企画調整室にお問い合わせください。

# 島根県立大学総合政策学会 第34回 特別講演会

講師

ピースボート共同代表・

核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)国際運営委員

## 川崎 哲 氏



演題

## 「核兵器禁止条約で世界は変わる ～ICANから見た日本～」

日時：2018年6月22日（金）

14時50分から16時20分まで

会場：島根県立大学浜田キャンパス 講堂

### 【講師プロフィール】

1968年東京生まれ。1993年東京大学法学部卒業。障害者介助の傍ら、市民グループで平和活動や外国人労働者・ホームレスの人権活動に従事。1998～2002年、NPO法人「ピースデポ」スタッフ（00～02年、事務局長）。2002～2003年、イラク戦争を止めるためのメールマガジン「週刊イラクQ」発行。2003年、ピースボートのスタッフとなり現在に至る。

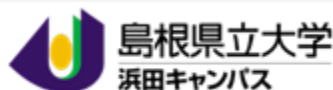
2008年から広島・長崎の被爆者と世界を回る「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」プロジェクトを実施。2009～10年、日豪両政府主導の「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会」でNGOアドバイザーをつとめた。2014年5月、「集団的自衛権問題研究会」をたちあげ、同代表。著書『核拡散 軍縮の風は起こせるか』（岩波新書）で日本平和学会第1回平和研究奨励賞を受賞。

日本平和学会会員、第22期理事（2016～2017年）。日本軍縮学会会員・編集委員（2011年～）。原子力市民委員会、第2部会（核廃棄物部会）メンバー。著書に『核兵器を禁止する』（岩波ブックレット、2014）、『核拡散 軍縮の風は起こせるか』（岩波新書、2003）など。

※入場無料・事前申込不要です。多くの皆様のご来学をお待ちしております。

問い合わせ先：〒697-0016 浜田市野原町 2433-2 TEL:0855-24-2201

島根県立大学 事務局企画調整室 福間・山本



## 【資料 7】

平成 30 年 5 月 14 日  
島根県立大学 出雲キャンパス  
担当：管理課 安立・工藤  
電話：0853-20-0200

### 島根県立大学看護栄養学部開設記念行事の開催について

#### 1. 目的

平成 30 年 4 月、本学看護学部は、管理栄養士を養成する健康栄養学科を加えて、「看護栄養学部」に生まれ変わりました。このことを記念して、このたび開設記念行事を開催することといたしました。

#### 2. 日時

平成 30 年 5 月 26 日（土） 9:30～14:30

#### 3. 場所

島根県立大学出雲キャンパス  
(出雲市西林木町 151 番地)

#### 4. 主催者

島根県立大学出雲キャンパス

#### 5. 内容

健康な生活を送る上で重要なテーマである「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」、「骨粗鬆症」に関する講演会やパネル討論などを次の日程で開催します。

##### ・基調講演

「ロコモティブシンドロームと骨粗鬆症への栄養と運動からのアプローチ」

講師：女子栄養大学 上西一弘教授

##### ・オロリン体操（島根県立大学オリジナル健康体操）

##### ・パネル討論「島根県立大学看護栄養学部がめざすもの」

##### 【希望者のみ】

・「ロコモ・骨粗しょう症予防のためのスペシャル弁当」を 500 円で提供

・新棟（5 号館）の施設案内

#### 6. 出席者・参加人数

一般参加者 約 100 名（予定）

招待者 約 50 名（予定）

看護栄養学部 1 年次生及び短大部健康栄養学科 2 年次生 150 名（予定）

島根県立大学教職員

#### 7. その他

別添チラシにより、一般市民に参加を募っており、5 月 16 日（水）を応募の〆切としています。



# 看護栄養学部 開設記念行事

～ 地域の中での看護栄養学部がめざすもの ～

[日時] 平成30年

**5月26日** **土** 9:30～12:00 (開場9:00)  
[会場] 鳥根県立大学 出雲キャンパス

**入場  
無料**

基調講演テーマ

## ロコモティブシンドロームと骨粗鬆症への 栄養と運動からのアプローチ

上西 一弘 先生 女子栄養大学 栄養生理学研究室 教授



●プロフィール

徳島大学大学院栄養学研究科修士課程修了。管理栄養士、博士(栄養学)。  
専門は栄養生理学、とくにヒトを対象としたカルシウムの吸収・利用に関する研究、骨の健康と栄養、身体計測とライフスタイルを合わせた栄養評価、スポーツ選手の栄養アセスメントとそれに基づく栄養サポートを行うなど幅広く活躍。骨粗鬆症学会評議員、日本栄養・食糧学会評議員、日本栄養改善学会理事、日本人の食事摂取基準2005年版、2010年版、2015年版策定ワーキングメンバー、骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会委員などを歴任。

●主な著書

『栄養素の通になる』  
『骨粗鬆症の人の食事』(女子栄養大学出版部)、  
『カルシウムと骨』(朝倉書店)など多数。

パネル討論

### 鳥根県立大学看護栄養学部がめざすもの

ご希望の方のみ (12:00-14:30)

- 昼食会 「ロコモ・骨粗しょう症予防のためのスペシャル弁当」を500円でご提供いたします。
- キャンパスツアー 新棟5号館を中心にキャンパスをご案内いたします。



鳥根県立大学  
マスコットキャラクター  
「オロチン」

参加申込み

本学ホームページまたは、ファックス・電話でお申込みください。(5月16日締切)

<http://www.u-shimane.ac.jp/ja/izumo/event/kangoieiy/>  
FAX 0853-20-0201 TEL 0853-20-0200



●参加申込書

氏名	フリガナ	所属	
住所	〒		
TEL	昼食会 スペシャル弁当 ※当日は500円をご用意ください。	希望する・希望しない	
FAX	キャンパスツアー	希望する・希望しない	

会場アクセス



〒693-8550 鳥根県出雲市西林木町151

- 一畑電車「川跡(かわと)駅」下車、徒歩5分  
「川跡駅」へは ○「電鉄出雲市駅」(JR出雲市駅隣接)から10分  
○「雲州平田駅」から10分  
○「松江しんじ湖温泉駅」から40分  
○「出雲大社前駅」から10分

## 【資料 8】

平成30年5月14日  
島根県立大学出雲キャンパス  
担当：安立・飯島  
(看護栄養交流センター)  
TEL：0853-20-0220

### 島根県立大学出雲キャンパス 看護栄養交流センター 平成30年度認定看護師教育課程入学式について

平成30年度認定看護師教育課程（認知症看護分野）入学式を下記のとおり挙行いたしますので、ご案内いたします。

#### 記

1. 日時：平成30年6月1日（金） 10:00～10:40
2. 会場：島根県立大学出雲キャンパス 北会議室  
(出雲市西林木町 151)
3. 出席者：入学生21名（島根県内8名、県外13名）  
島根県健康福祉部長ほか  
島根県立大学教職員
4. 式次第 (1) 開式の辞  
(2) 入学許可  
(3) 学長式辞  
(4) 来賓祝辞  
(5) 入学生宣誓  
(6) 閉式の辞
5. その他 島根県立大学出雲キャンパス看護栄養交流センターでは、平成28年度より島根県の委託を受けて、緩和ケア分野の認定看護師育成を行ない、2年間で延べ34名の認定看護師を輩出しました。  
今年度より認知症看護分野の認定看護師教育課程を開講し、今後益々需要の高まる認知症看護分野において活躍できる認定看護師を育成します。

平成30年5月14日  
島根県立大学出雲キャンパス  
担当者：教務学生課 澤田  
電 話：0853-20-0200(代)

## 【行事予定】

### 新入生と副学長とのランチミーティングについて

#### 1 目的

出雲キャンパスでは、新入生と副学長が直接対話できる機会を設けることで、学生の日々の生活や要望を聞き、コミュニケーションを図ると共に必要な支援について検討するためにランチミーティングを開催しています。なお、このランチミーティングは、平成25年度より開催しており、今年で6年目となります。

#### 2 実施期間

平成30年4月25日（水）～7月2日（月）週1～2回実施

#### 3 場所・会場

島根県立大学出雲キャンパス 学生食堂エール

#### 4 主催者等

島根県立大学出雲キャンパス 学生生活委員会  
つわぶき後援会

#### 5 対象

平成30年度新入生及び  
健康栄養学科2年生 166名



4月27日（金）別科助産学専攻生とのランチミーティングの様子